

# 令和5年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	南区白根健康福祉センター		
管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープセンター事業団	指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日
担当課	南区役所健康福祉課		
所在地	南区白根1364番地12		
根拠法令	地域保健法		
設置条例	新潟市地域保健福祉センター条例		
施設概要	敷地面積3,816.58㎡ 建築面積1,437.38㎡ 延床面積3,263.38㎡ 鉄筋コンクリート造 3階建て 1階 事務室, 茶の間スペース, キッズコーナー, 保育室, ボランティアルーム, 喫茶コーナー, 調理実習室, 交流ホール, 研修室 2階 検診・問診室, 計測・診察室, 機能訓練室, 歯科指導室, 研修室 3階 研修室, 多目的ホール		

施設設置目的	
市民の健康の保持及び福祉の増進に資するため、南区白根健康福祉センターを設置する。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新潟市地域保健福祉センター条例に基づき、市民の健康の保持及び福祉の増進に資するとともに、市民の保健及び福祉活動を支援するための施設を提供すること。</li> <li>2 公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等の利用が確保されること。</li> <li>3 利用者や市民などの意見要望を管理運営に反映させ、利用者の満足度を高めていくこと。</li> <li>4 利用者に対し、安全及び快適な環境を提供すること。</li> <li>5 新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。</li> <li>6 効率的かつ効果的な管理運営を行い経費節減に努めること。</li> <li>7 法令を遵守し、施設の管理運営を適切に行うこと。</li> </ol>	

令和5年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には5営業日以内に回答	苦情はありませんでした。 管理者変更後もお茶の間から協力依頼され了承。	A	次期管理者と連携し、次年度以降の利用者のことも考え対応している点を評価します。
財 務	管理運営経費の削減	管理運営経費の削減努力	経費上昇する中、再委託経費の見直しにより経費の引き下げを行った。	B	
業 務	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	改善内容に応じて、軽易なものとは即日、時間を要するものは1週間以内に改善対応	改善勧告等はありませんでした。	B	
	安全安心の確保	防災訓練を1回以上実施	消防設備訓練・避難訓練を1回、実施しました。	B	
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	協定書に基づく研修を1回以上行った。(個人情報保護・危機管理等)	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	事故発生0件	事件・事故発生はありませんでした。	B	
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守し、改善にも努めました。	B	
人 材	配置人員の業務理解度と能力習得度の向上	職員研修を1回以上実施	ストレスチェックや傾聴の研修を実施、受講しました。	B	
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	最賃の遵守、労基法に基づいた管理を実施	B	

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
- B: 要求水準(評価指標)が達成されている
- C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていな

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

5月にコロナ感染症が5類に移行したことを受け、少しずつ自主事業を再開し、7事業、計32回の自主事業を開催することができました。コロナ感染症が5類に移行したとはいえ、円安の影響などで生活苦には変わりない中、フードパントリーを今年度も継続して実施することが出来ました。1年間で10回開催できました。また常設しているフードドライブにも定期的に寄贈いただく方が増え、昨年度を上回る寄贈品がありました。すべてフードバンク連絡協議会を通じ、必要とされる人に届くようにしました。また今年度も南区社会福祉協議会と連携したフードパントリーにもフードバンク連絡協議会の協力を得てブックパントリーを同時に実施することが出来ました。また夏休みには児童センター、ひまわりクラブと連携して、小学生向けに夏休みの思いで作りをする機会を設けました。コロナ感染症が5類に移行後、月一回まちなかコンサートを開催。久しぶりの開催に参加者からは喜びの声も聞かれました。3月のさよならコンサートは認カフェかけ橋との共催で開催。認知症の方と一緒に演奏するなど良い節目とすることができました。また、小学校の教科書にも載った「中村哲の働くということ」という自主制作映画上映を地域の多くの人に向けて開催。今後の地域活動のきっかけになったと思います。今後もいろいろな地域での上映を企画していきます。地域交流事業としては、お茶の間へ出向き、音楽提供を、放課後等デイサービスへは音楽遊びを行いました。年々色々な相談(認知症相談、生活相談等々、子育て相談など)での電話や来館者があり、都度、話を伺い、関連団体等に繋ぎました。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 ( 所 見 )

コロナ感染症の5類移行に伴い、自主事業も積極的に再開し、昨年度より多く実施していることや周辺施設等と連携し、幅広い年代の地域利用者に対応していることを評価します。また、フードパントリーの継続実施やフードドライブに多くの寄贈品があることは、指定管理者の日頃からの努力の成果であると思います。